別海町立野付小学校　学校便り

三角帆

◆発行責任者　校長　青坂信司

◆発　行　日　平成２４年９月１２日

平成２４年度学校テーマ「学び続ける学校」　第９号

※学校ブログで、ほぼ毎日のように情報発信しています。

続々・「つながり力」と優しい心

校長　青坂　信司

◆尾岱沼駐在所のお巡りさん、佐々木さんには大変お世話になっています。子ども達の登校時、下校時における巡視。避難訓練やちょっとした事件があると、必ずと言っていいほど、パトカーで回ってきます。また、学校の行事案内を差し上げると制服姿でいつも子ども達の活動を見てくださります。欠かすことがありません。また、小学校の行事ばかりでなく、地域の行事でも本当によくお会いし、挨拶を交わします。こうした地域に根差した尾岱沼駐在所のお巡りさんの活動に心から敬意を表するものです。

◆７月に実施した野付半島ツアーでは、子ども達を交通事故から守るために、子ども達がゴールの野付ネイチャーセンターを目指して歩いている間、ずっとパトカー巡視してくださいました。学校の担当者から声をかけると、快く引き受けてくださったのです。

◆さて、このように学校の行事である野付半島ツアーが尾岱沼駐在所のお巡りさんに支えられていることを子どもたちに伝え、お礼状を書いて差し上げることにしました。２年生の子ども達が書いてさし出しました。すると、折り返し礼状に対する返信が来ました。尾岱沼駐在所のお巡りさんが、地域の安全安心を願って、子ども達のことを温かく見守ってくださっていることが伝わってくるとても素敵な返信です。

◆尾岱沼駐在所のお巡りさんには、交通安全教室でもお話していただきました。そのお話の中で、何故警察官という職業を選ばれたのかという話もされ、大変感銘を受けました。

【子ども達の礼状に関する返信】

野付小学校児童の皆さんへ

尾岱沼駐在所の佐々木といいます。先日は、２年生の皆さんから手紙をいただき、ありがとうございました。パトロールに対するお礼をいただいたのは、私が警察官になってから初めてのことでしたので、とてもうれしかったです。

皆さんの遠足は、どのような思い出になりましたか。

低学年の皆さんは、慣れない遠足でしたし、中高学年の皆さんは、大人でも辛いと思われる６キロコースと１０キロコースでしたね。

それらのコースを皆さんが笑顔で達成されたことにとても感動しました。恐れ入りますの一言です。

これからも、その笑顔と頑張りを大切にしてください。

［中略］

最後に学校生活を良い思い出にするために、皆さんが優しい気持ちを持って、いじめのない学校を作り続けてくれることを願っています。

平成２４年７月２４日

尾岱沼駐在所　佐々木

◆お巡りさんが書いてくださった「笑顔と頑張り」というのは、人が成長するための大切な点だと私には思えます。人がつながっていくと様々な学びを得ることができるのだと痛感するのです。